

創造・誇り・愛！ 輝く七中 ^{きら}煌めけ生徒！！



とちのき

立川市立立川第七中学校

校長 水越 伸朗

学校だより

第10号

令和5年2月15日



七中 HP URL

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

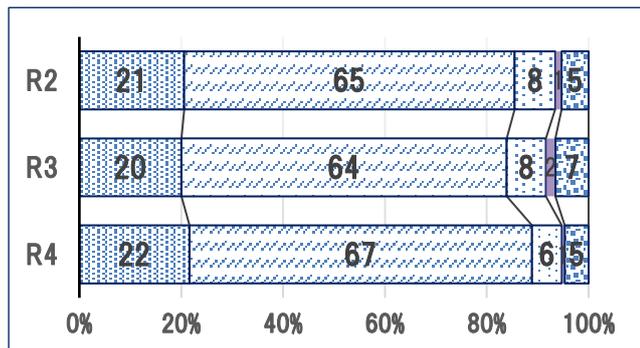
TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103

保護者評価アンケートの集計結果について

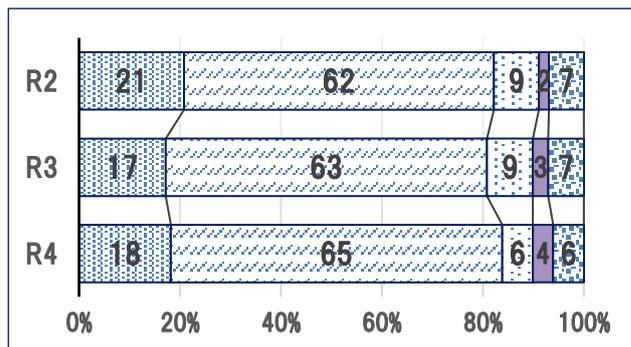
保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。12月に実施いたしました「保護者評価アンケート」にご回答いただきありがとうございます。全校で342名(73.0%)の保護者の皆様からご回答をいただきました。令和2年・3年度と比較したデータをお知らせいたします。この結果は、次年度の教育計画に活用させていただきます。今回は立川市立小中学校の共通質問である15問で行いました。



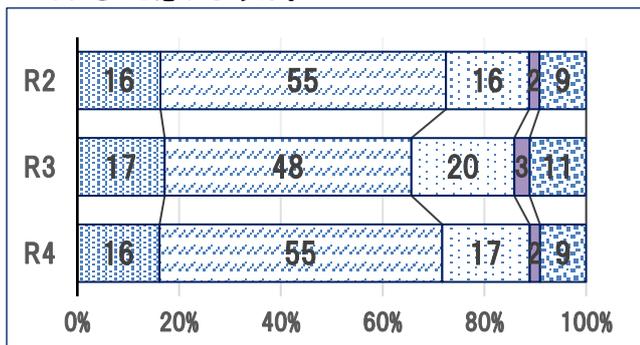
1【学校経営】保護者会や学校だより等で教育目標や学校経営方針などをわかりやすく伝えている と思いますか。



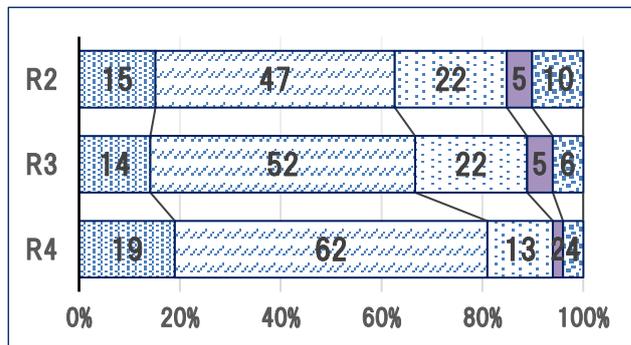
2【学校経営】学習活動や環境については、子どもの安全・安心が十分に確保されている と思いますか。



3【学校経営】学力向上や体力向上に組織的に取り組んでいる と思いますか。

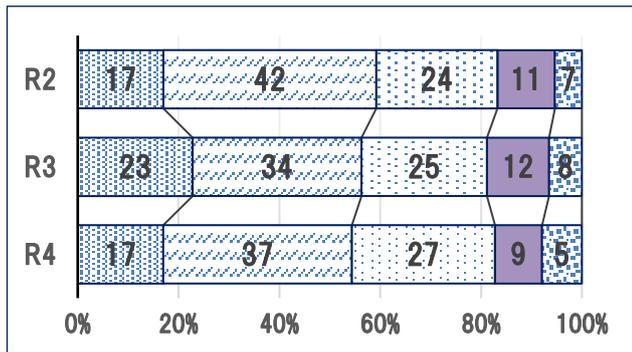


4【学校経営】学校行事は充実している と思いますか。

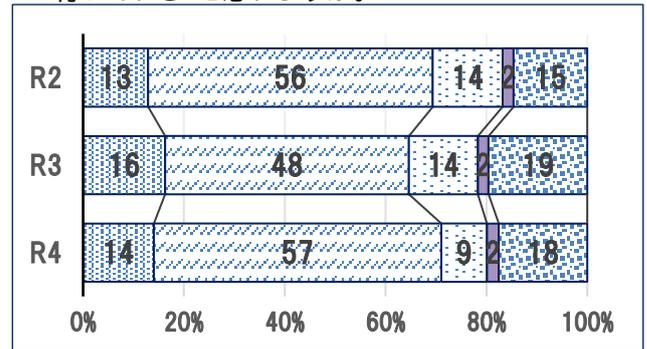


- 1 教育目標、学校経営方針はおおむね多くの皆様にご理解いただいております。今後も、学校だよりや保護者会等で具体的に、わかりやすく伝える工夫をしていきます。
- 2 子どもの安全、安心の確保は、学校の最重点課題です。事故やけがの防止をはじめ新型コロナウイルス感染症予防等、生徒一人一人が安心して学べる環境づくりに努めます。
- 3 日頃の授業の充実を図り、基礎学力の定着と、思考力・判断力・表現力等の育成に向け組織的に取り組んでいます。令和4年度の全国学力調査(3学年)では、本校の平均点は都平均・全国平均を下回る結果でした。今後も、七中校区の小中学校と連携して学力や体力の向上に取り組めます。
- 4 コロナ禍で、各種行事は保護者の方の参観人数は制限されるなかでしたが、保護者の皆様の応援をいただくことができました。運動会、合唱コンクールは、生徒は自主的に取り組み、自信を深めました。

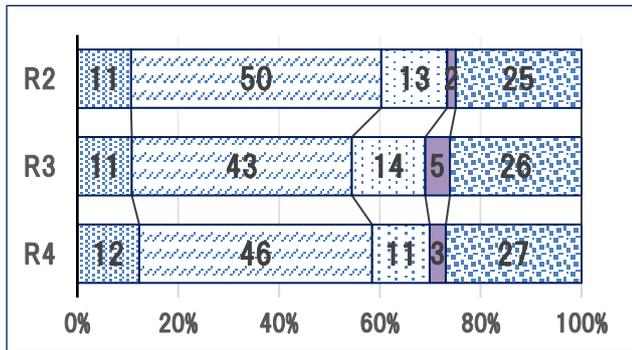
5 【学校経営】部活動は充実している と思いますか。



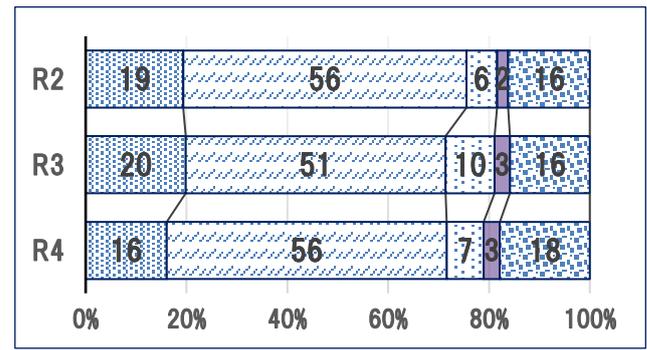
6【学校経営】保護者や地域との連携による学校経営を行っている と思いますか。



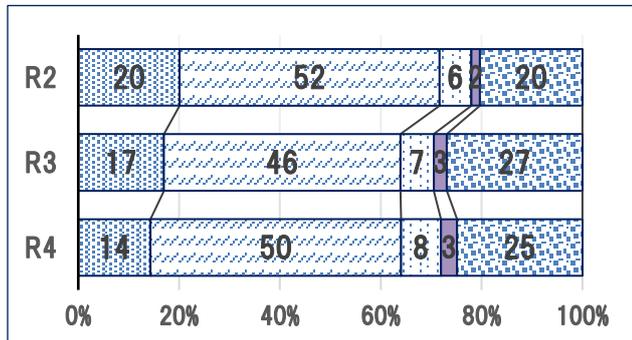
7【授業】わかりやすい授業を行っている と思いますか



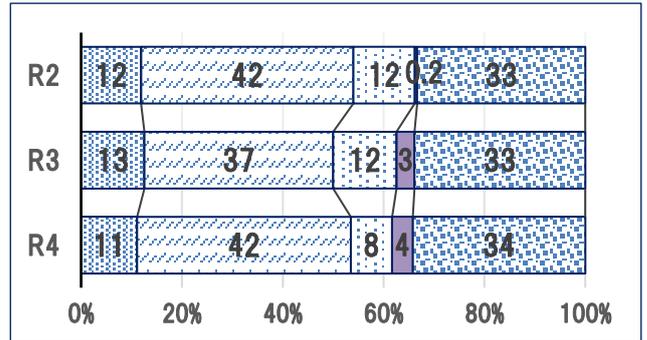
8【授業】子どもの人権を尊重した指導を行っている と思いますか。



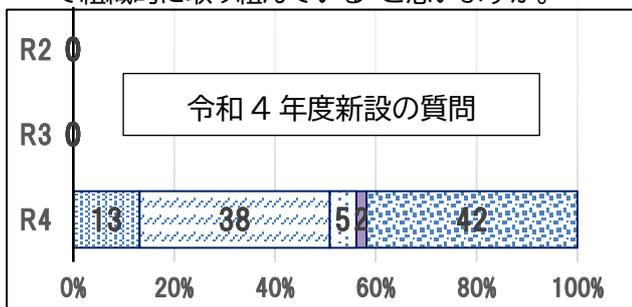
9【授業】いじめや暴力根絶に組織的に取り組んでいる と思いますか。



10【授業】授業改善に努めている と思いますか。

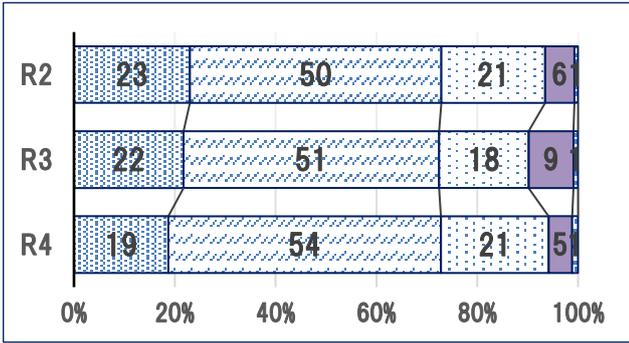


11【授業】立川市民科では、探求的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる と思いますか。

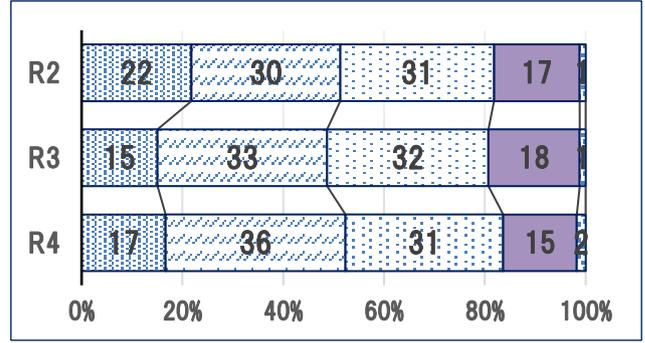


- 5 部活動は、教員の負担を考え全員が顧問となり運営しています。教員の働き方改革を進めながら、部活動の充実を図ってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
- 6 コミュニティスクールとして地域の皆様と連携・協働して学校運営を推進しています。例年、松明まつりはじめ西砂川地区の行事等で生徒が活躍できる場をいただいています。今後もご指導よろしく申し上げます。
- 7・10 ICT 機器を活用した指導や意見交換や発表の時間を設定するなどの授業改善を進めています。
- 8 生徒一人一人の人権を大切にしたい指導を行っていますが、十分な信頼を得られている数値ではないと判断します。日頃から良好な言語環境を整え、生徒・保護者の皆様の期待に応えられるよう努力します。
- 9 いじめや暴力の調査、心理調査を定期的に行い、早期発見、早期対応、未然防止に努めています。
- 11 立川市民科では1学年農業体験や2学年職場体験、3学年生きる力を育む授業・講演会について取り組みました。より一層探究的な学びにつながるよう取り組んでいきます。

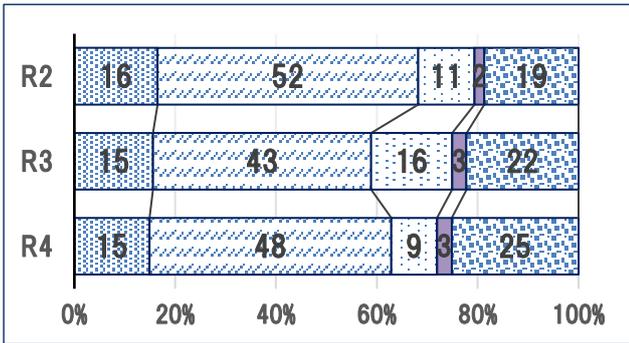
12【家庭生活】お子様は毎日規則正しい生活を送っていますか。



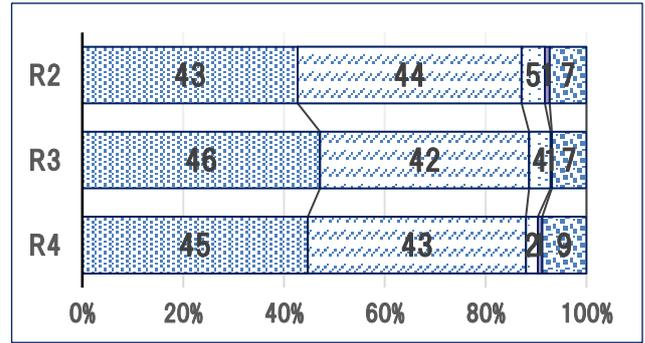
13【家庭生活】お子様は毎日家庭学習を行っていますか。



14【小中連携教育】小学校と中学校が連携して、学校教育に取り組んでいると思いますか。



15【小中連携教育】小学校と中学校の連携は、各学校の教育の充実に大切であると思いますか。



- 12 生徒アンケートでは毎日朝食を食べている割合は 91.5%と高い割合を示しています。このような規則正しい生活を維持して下さることが、お子様の学校生活をよくする土台になっていると感謝しています。
- 13 生徒アンケートでも家庭学習の割合は6割弱と課題があります。教科によっては、家庭で取り組む課題を出しています。家庭での学習習慣(特に復習)を身に付けられるよう指導していきます。ご家庭でもお子様が家庭学習をしている様子を認め、励ましていただければと思います。
- 14・15 西砂小学校、松中小学校と連携して、9年間の指導の連続性を重視した教育を行っています。今後も、学力向上・体力向上・立川市民科等で連携して取り組んでいきます。

主なご質問・ご意見の概要と回答

	担当	ご意見・ご質問	回答
1	管理	今回の学校評価のアンケートについて、同内容のアンケート依頼が複数回送信されることや、記名式にするのはどうしてでしょうか。	学校評価のアンケートは、今年度の反省と次年度以降の学校運営に反映する目的で、できる限り多くの保護者の皆様からご回答いただきたいと考え、回答率を確認しながら再依頼を送信いたしました。配信システムの都合上一斉送信となるため、すでにご回答いただけているご家庭におかれましては、ご面倒をおかけして申し訳ありませんでした。また、アンケートを記名式にしているのは、回答者が保護者であることの確認と、ご意見等の回答内容によっては該当のご家庭と直接の対応が必要になることを想定しているためです。
2	管理	部活動の種類が少ない、陸上部をつくってもらえないでしょうか。	現在、立川第七中学校には運動部を5部、文化部を6部、ほか管理顧問として2部設置しております。部活動への関心やご期待があることは重々承知しておりますが、競技等の専門性をもった教員の確保などを考え、持続可能な部活動数を設定しております。
3	管理	校舎の老朽化が心配です。今後の改修予定はありますか。	本校は昭和53年に創立し、校舎の古い部分では44年を経過しております。平成22年にはすべての校舎の耐震化を完了しております。雨漏り等が発生し老朽化は否めませんが、立川市が法令等に基づいた点検・調査をし、必要な補修についてその都度行っております。今後の改修工事については現段階では立川市から示されておりません。

	担当	ご意見・ご質問	回答
4	管理	体育館の件について、あらためて説明をお願いします。また授業や部活動など、今後の学校活動に支障がないことを願っています。	<p>昨年の6月30日未明に火災が起こり、生徒・保護者・地域の皆様には多くのご心配をおかけしました。また、保健体育の授業場所や部活動の活動場所、各種行事の開催場所については変更を余儀なくされ、現在もたいへんご不便をおかけしております。この間、立川市は「第七中学校体育館復旧対策プロジェクト会議」を立ち上げ、令和5年10月に仮設体育館、令和6年2学期に新体育館の運用に向けて準備しております。出火の原因や今後の復旧スケジュールは本校ホームページにより詳しく掲載しておりますので、ご確認ください。</p>
5	管理	朝は寒いので暖房をつけてほしい、暑いときは暖房を消してほしい。	<p>普通教室を設置している南校舎の冷暖房は冷温水発生機によるセントラル空調方式を採用しております。冬季の朝は7:30までに稼働するように電源を入れております。晴れて気温が高くなることが予想される日は11時～15時の間は電源を切るように手動で行っております。個別空調方式ではないため、各教室ごとの温まり方をみて温度設定ができないことをご不便をおかけしております。</p>
6	教務	小中連携教育は保護者からは見えづらい。また、小中連携をうたうならば、中学生による読み聞かせ活動など行える場があったら良いと思います。	<p>感染症対策により、ここ数年は生徒・児童同士の交流は行うことができていませんでした。今年度は2月に小学生の七中体験を開催するなど、少しずつ交流の場が戻りつつあります。以下の七中校区の基本方針を踏まえ、ご意見いただいた活動などについても検討し、保護者の方にも見える形で実践していきたいと思っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小・中9年間の教育活動により、自立した子どもたちを育てる ○知徳体の調和のとれた子どもを育てる ○校区スタンダード(学習・生活)を共有、協働して取り組み、定着を図る
7	教務	定期考査の過去問が一部塾などで出回っています。すべての生徒が公平な条件でテストに臨めるように配慮してほしい。	<p>定期考査の問題は毎年担当が新たに作成しています。毎年指導する単元・内容は原則同じであり、重要なポイントも同じなので、学習範囲が狭い教科によっては類似した問題が出ることはありますが、問題の出し方を変えるなど工夫をしていきます。</p>
8	教務	中学校全体の学力向上のため、放課後勉強教室など開催してほしい。	<p>現在、七中では水曜学習教室という放課後の補習教室に加え、定期考査前は各学年でも放課後に補習教室を実施しています。本校でも学力向上は重要な課題の一つとしてとらえており、上記の取り組みの質的向上を図るなど、学力向上に努めていきます。</p>
9	教務	中間・期末考査を数日間実施するより、単元ごとの小テストをこまめに行う方が、学力向上につながると思います。	<p>定期考査を行うことは、同一時間に一斉に行うことによる成績の公平性の担保や、中期的な習熟度を測るなどのメリットがあると考えます。また、ご意見にあったように小テストを行うことも、生徒の学習習慣の定着や生徒一人一人の理解度を把握できるなどのメリットがあります。双方の良さを踏まえ、学力向上に努めていきます。</p>
10	教務	定期考査の平均点が低いのが気になります。また、50点満点の教科があったり、2教科一緒だったり、5教科と4教科で試験時間が違うのでは公平性がなく、生徒のモチベーションも低下すると思います。	<p>定期考査の平均点について、上記にある通り学力向上に取り組んでいきます。技術分野と家庭分野は合わせて1教科なので、定期考査も1コマで実施しております。満点の点数が違う教科に関しては、評価に占める実技等の割合が多く、定期考査で測る問題の数が少ないため50点満点で実施しております。すべての教科の評定は到達度を割合で算出しているため、各教科内で公平性を保っていますのでご安心ください。今後も引き続き、各教科担当から生徒に評価方法をきちんと説明していきます。</p>
11	生活	学校に携帯を持って来て、先生たちの気付かないところで撮影している生徒がいるそうです。	<p>スマートフォンについて、七中のきまりでは『スマートフォンなどの通信機器を学校内に持ち込まない』となっています。七中のきまりを生徒たちと改めて確認するとともに、きまりを守る態度や集団のなかでの自浄作用について、今後とも指導してまいります。</p>
12	生活	部活の費用についての連絡が徹底されず対応に困ります。	<p>部活動に関する費用や校外での活動についての連絡は、書面(校長が確認したプリント)をもって確実にお知らせするようにします。また、部活動でやむを得ず SNS を利用する場合には、必要な事務連絡に限って使用します。</p>

	担当	ご意見・ご質問	回答
13	生活	不登校生徒が多いのが気になります。また、担任の先生が生徒に対して否定的なことを言うようになって更に溝が深まっていると聞いています。	様々な要因で、現在、登校できない生徒たちがいます。ご家庭、また、多くの支援員、関係機関と連携して支援に努めています。 また、生徒のそばにいて、生徒の話をしっかり聴き受け止めることを心がけ、生徒への声かけにも文言や口調に気を配るようにしています。今後とも、生徒との信頼関係を深められるよう努めていきます。依然としてご心配な点があれば、学校にご連絡ください。
14	生活	持ち帰りの教科書等が多すぎて、登下校が心配です。	荷物の持ち帰りについては、令和3年9月より『その日の家庭学習に必要な道具は持ち帰る。…略…。ロッカーの中の整理整頓を心がける。』と改定しました。持ち帰る道具については、生徒各自の責任で判断することになっています。学校では、授業で「その日の家庭学習で復習・予習すべき内容」を伝えます。今後とも、ご家庭でもお子様への声かけ・ご助言、また、持ち帰った学習道具の確認などをお願いいたします。ロッカーの中の整理整頓用ケースの購入にもご理解・ご協力くださり、誠にありがとうございます。
15	生活	制服に関して、下着は白という指定があることに疑問を感じます。子供たちは夏の暑い中でも、下着が透けるのを防ぐため、セーターを着て絶対に脱ぎません。そもそも、ワイシャツを辞めて、紺や黒のポロシャツなら透けることもなく、スカートの中に入れる必要もなくセーターを着る子供達も減って熱中症予防にもなるかと思えます。またポロシャツならば市販のものも使えますし制服代の節約にもなります。また、夏などは熱中症予防で帽子を被らせたいのですが、帽子についてもご検討いただきたいです。	学校生活のきまりについては、大きく次の2つの観点から検討を続けています。 1 学校という学びの場・集団生活の場で規律ある生活、また、他者のことにも配慮する生活を送れる姿勢の育成 2 1に加えて、『生徒たちに少しでも快適に学校生活を送り、学習や諸活動に頑張ってもらいたい』という思いと本人が落ち着く状況への配慮 これまで「衣替えの移行期間の延長」、「タイツの着用」、「荷物の持ち帰り」、「セーター姿での生活」、「標準服の性による指定の廃止」、「防寒着の着用についてのコロナ禍での柔軟な対応」などに取り組んでいます。 このように進められたのは、『生徒たちのふだんの生活の様子から考えて、今後も適切な判断をして行動できるだろう』という信頼・期待・願いからです。 夏季の服装については、身だしなみと健康面から検討中です。帽子の着用については、担任にご相談ください。
16	生活	給食の時間が短いことは以前から課題だと思っています。育ち盛りの世代には、15分程度で食事をとることは満足ではないと思います。給食が導入されることで改善される事を願っています。	給食の時間は、準備を含めて25分間設定しています。来年度2学期から食卓方式の給食が始まります。これにともない、来年度当初から昼食時間を5分間延長し30分間とします。この時間には手洗い・配膳・片付けが含まれますので、生徒たちが協力して手際よく準備できるように支援して、食事の時間を確保したいと思っています。
17	生活	授業を受けない生徒は、親に連絡するなどして他の生徒の授業の邪魔にならないようにしてほしいです。	授業中に限らず、周囲に迷惑をかける行動が続くときは、ご家庭と連携して支援しています。今後とも、授業規律が保てるよう努めていきます。
18	生活	お忙しいとは、思いますが生徒の意見をもっともっと聞いてあげてほしいと思います。その上で、改善に向けて手を打ってあげてもらいたいです。	生徒の声をしっかり聴き受け止めることを心がけ、その声を参考にして学校生活のきまりの検討や授業の改善をしています。今後も聴く姿勢を大切にして、生徒との相談、そして、よりよい学校生活に向けた支援に努めたいと思います。
19	保健	新型コロナウイルス陽性者が多く出てきているので、対応をしてほしい。	新型コロナウイルス感染症の感染及び流行状況を把握・注視し、予防対策に努めています。詳しくはお子様にご配布している健康観察カードをご覧ください。
20	保健	外ではマスク着用しなくてもよいといわれているのに、入学式もマスク、運動会もマスク、卒業式までマスクなのではないでしょうか。マスクの有害無益を理解してもらい子供達に外させてほしい。	学校生活のマスクの着用については、文部科学省指針『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル』に基づいています。 今年度の卒業式のマスク着用は、立川市教育委員会卒業式実施方針に基づいています。証書授与の時など壇上で一人である場合や、写真撮影などシャッターを切る瞬間は外して構いません。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染症分類位置づけ変更に伴う感染対策の見直しに対応していきます。

そのほか、様々な面でご提案や多くの感謝の言葉を寄せていただきました。ご意見をくださった保護者の皆さん、ご関心を寄せていただき、たいへん、励みになります。ご協力ありがとうございました。

東京都公立学校美術展覧会

2月14日(火)から2月19日(日)まで、東京都美術館(JR 上野駅より徒歩7分)にて「第72回東京都公立学校美術展覧会」が開催されます。東京都の公立小・中学校・義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校の児童・生徒の代表作品が一堂に会する展覧会です。(図画工作、美術、工芸、家庭、技術家庭、書写)本校からは3名の作品が展示されます。ぜひご覧ください。

- 3年 (ポスター制作)
- 3年 (ポスター制作)
- 3年 (ポスター制作)



会期:2月14日(火)~2月19日(日)
9:30~17:30(入場は17:00まで)
最終日は12:00まで(入場は11:30まで)

男女別標準服の見直しについて

標準服「誰でもどれでも選べます」

— 令和5年度より標準服の男女別をなくします —

“みんなちがって、みんないい”

生徒たちは、変化と多様性に富んだ社会に出ていきます。そこでは、多様な価値観を受け入れる土壌が求められます。生徒一人一人に、人は多様であるという意識を育んでいくことが必要です。

学校では、「多様性と調和」(あらゆる面での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合う姿勢)について、生徒に理解を深めさせ、ふさわしい態度を育めるよう取り組んでいます。

今後、ますます「多様性と調和」が求められることを鑑み、この取り組みに併せて、下記のように令和5年度より標準服の男女別をなくすこととしました。

記

□ 変更点(令和5年度より)

標準服(現行のスラックス・スカート・ネクタイ・リボン)は、「誰でもどれでも選べます」

『七中のきまり』

【現行】 (ア) 標準服について

- ① 夏服(6月~9月)
男子 白ポロシャツ、又はワイシャツにスラックス (ベストは着用不可)
女子 白ポロシャツ、又はワイシャツにスカート、又はスラックス
(男女共、白ポロシャツの場合、ワンポイントも可)
- ② その他の時期は男女共、七中標準服。 (女子もスラックスの着用可)
- ③ ネクタイ・リボンは、授業などの時間内、常時着用する。
(夏服の期間は基本的に着用しない。)



【令和5年度より】 (ア) 標準服について

- ① 夏服(6月~9月)
白ポロシャツ、又はワイシャツにスラックス又はスカート
(白ポロシャツの場合、ワンポイントも可)
- ② その他の時期は、七中標準服。
- ③ ネクタイ・リボンは、授業などの時間内、常時着用する。
(夏服の期間は基本的に着用しない。)

夏服については
身だしなみと
健康面から
検討している
ところです